



2020年5月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年3月31日

上場会社名 ヤマシタヘルスケアホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9265 URL http://yhchd.co.jp/
 代表者(役職名) 代表取締役執行役員社長(氏名) 山下 尚登
 問合せ先責任者(役職名) 取締役執行役員(氏名) 伊藤 秀憲 (TEL) 092-726-8200
 四半期報告書提出予定日 2020年4月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年5月期第3四半期の連結業績(2019年6月1日~2020年2月29日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年5月期第3四半期	47,946	8.1	455	112.5	522	82.5	398	178.7
2019年5月期第3四半期	44,374	6.8	214	—	286	—	143	—

(注) 包括利益 2020年5月期第3四半期 524百万円(137.9%) 2019年5月期第3四半期 220百万円(680.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年5月期第3四半期	156.11	—
2019年5月期第3四半期	56.02	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年5月期第3四半期	20,104	6,789	33.8
2019年5月期	20,320	6,372	31.4

(参考) 自己資本 2020年5月期第3四半期 6,789百万円 2019年5月期 6,372百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年5月期	—	0.00	—	42.00	42.00
2020年5月期	—	0.00	—		
2020年5月期(予想)				45.00	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年5月期の連結業績予想(2019年6月1日~2020年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	63,780	3.7	561	7.5	639	3.6	423	193.5	166.01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2020年5月期3Q	2,553,000株	2019年5月期	2,553,000株
2020年5月期3Q	114株	2019年5月期	71株
2020年5月期3Q	2,552,915株	2019年5月期3Q	2,552,932株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(四半期連結損益計算書関係)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策効果等を背景に個人消費が比較的堅調に推移するなど、緩やかな回復基調で推移しました。しかしながら、通商問題を巡る海外経済の不確実性や金融資本市場の変動等の要因に加え、新型コロナウイルス感染症が内外経済に与える影響への懸念など、先行き不透明な状況が続いております。

医療業界におきましては、健康寿命の延伸に向け、医療・介護関連の各種施策が推進される中、2020年度政府予算案が決定し、地域包括ケアシステムの構築等、地域医療構想実現に向けた施策のほか、医師偏在対策や災害医療体制の推進等の施策に重点的に予算配分がなされております。また、本年4月に予定されている診療報酬改定においては、医療従事者の負担軽減、医師等の働き方改革の推進を重点課題とするほか、急性期入院医療における患者の重症度の判定基準の見直し等が提示されております。

医療機器業界におきましては、需要が拡大する一方、今回の診療報酬改定にて医療材料価格が0.02%の引き下げとなるなど、医療材料の単価下落が続いております。このような中、各企業は、医療機関の経営改善に資するサービスの提案力に加え、価格競争力やコスト削減による収益力の向上がより一層求められており、企業間の競争はますます激化しております。

このような状況の中、当社グループは、中核事業である医療機器販売業における高度医療機器や低侵襲治療機器等の主力商品分野における営業強化に積極的に取り組むほか、SPD(Supply Processing&Distribution)事業の推進にも継続して取り組んでおります。また、電子カルテシステムの拡販やクリニックの開設・移転・リニューアルをサポートする新規開業支援等、顧客ニーズを見据えた営業活動を行い、医療機関との関係強化を図っております。

また、2019年11月より、全国の医療機関および介護施設向けに新型輸液装置のレンタル事業を開始したほか、本年1月には東日本電信電話株式会社と協業契約を締結し、新たな医療機関向けICTサービスを開始しております。さらに、2019年12月、医療経営に関する専門性の高いコンサルティング事業に特化した法人を設立し、医療機関の経営支援や病床転換・M&A・事業承継等の需要の高まりに対応するとともに、グループ間のシナジーを高めるべく、グループ事業会社4社体制をスタートさせました。

当第3四半期連結累計期間における売上高は、上記営業努力の効果等により、479億46百万円（前年同四半期比8.1%増）となりました。利益面につきましては、売上増加に伴う売上総利益の増加により、新規事業参入に伴う販売促進費や、先行投資による経費面の増加を吸収できたことから、営業利益は4億55百万円（前年同四半期比112.5%増）、経常利益は5億22百万円（前年同四半期比82.5%増）となりました。また、条件付対価受入益等による特別利益34百万円を計上したことから、親会社株主に帰属する四半期純利益は3億98百万円（前年同四半期比178.7%増）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

① 医療機器販売業

医療機器販売業のうち一般機器分野では、MRI等の画像診断機器や、超音波診断装置等の医療機器備品の売上増加により76億98百万円（前年同四半期比20.0%増）となりました。一般消耗品分野では、医療機器消耗品の売上増加により163億69百万円（前年同四半期比1.5%増）となりました。内視鏡、サージカル、循環器等により構成される低侵襲治療分野では、内視鏡手術システム等のサージカル備品の売上減少により119億10百万円（前年同四半期比2.0%減）となりました。整形、理化学、眼科、皮膚・形成、透析により構成される専門分野では、眼科用検査装置等の眼科備品の売上減少により79億79百万円（前年同四半期比2.2%減）となりました。医療情報、設備、医療環境等により構成される情報・サービス分野では、新築建て替えに伴う医療ガス設備工事等の増加や、医療IT備品の売上増加により37億3百万円（前年同四半期比201.4%増）となりました。

この結果、医療機器販売業の売上高は476億61百万円（前年同四半期比8.1%増）、セグメント利益は9億21百万円（前年同四半期比59.4%増）となりました。

医療機器販売業の売上高は次のとおりであります。

(単位：百万円)

区分	前第3四半期連結累計期間		当第3四半期連結累計期間		増減額	前年同期比 (%)
	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)		
一般機器分野	6,416	14.6	7,698	16.2	1,281	120.0
一般消耗品分野	16,134	36.6	16,369	34.3	234	101.5
低侵襲治療分野	12,156	27.6	11,910	25.0	△245	98.0
専門分野	8,158	18.5	7,979	16.7	△179	97.8
情報・サービス分野	1,228	2.8	3,703	7.8	2,475	301.4
小計	44,095	100.0	47,661	100.0	3,566	108.1

② 医療機器製造・販売業

医療機器製造・販売業におきましては、主としてグループ開発製品である整形外科用インプラントを製造・販売しており、売上高は2億38百万円（前年同四半期比16.6%減）、セグメント利益は50百万円（前年同四半期比3.4%減）となりました。

③ 医療モール事業

医療モール事業におきましては、主として賃料収入により売上高は52百万円（前年同四半期比4.7%減）、セグメント利益は3百万円（前年同四半期比52.4%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は201億4百万円となり、前連結会計年度末に比べて2億16百万円減少いたしました。流動資産は、主に現金及び預金の減少により、前連結会計年度末に比べて2億41百万円減少し、148億96百万円となりました。固定資産は、前連結会計年度末に比べて25百万円増加し、52億8百万円となりました。

(負債及び純資産の部)

当第3四半期連結会計期間末の負債は、電子記録債務の減少等により、前連結会計年度末に比べて6億33百万円減少し、133億14百万円となりました。また、純資産は、前連結会計年度末に比べて4億17百万円増加し、67億89百万円となり、自己資本比率は33.8%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年5月期の連結業績予想につきましては、2019年7月12日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年2月29日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,335,526	1,876,555
受取手形及び売掛金	10,155,562	10,213,729
商品	2,470,649	2,658,532
その他	193,260	164,799
貸倒引当金	△17,380	△17,486
流動資産合計	15,137,619	14,896,130
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,628,402	3,632,585
減価償却累計額	△1,706,650	△1,790,379
建物及び構築物（純額）	1,921,751	1,842,206
土地	1,660,356	1,660,356
その他	659,476	659,208
減価償却累計額	△573,822	△594,183
その他（純額）	85,654	65,024
有形固定資産合計	3,667,762	3,567,587
無形固定資産		
のれん	112,000	101,500
その他	60,569	64,962
無形固定資産合計	172,569	166,462
投資その他の資産		
投資有価証券	748,269	938,040
関係会社株式	42,742	59,345
その他	563,961	489,836
貸倒引当金	△12,204	△12,982
投資その他の資産合計	1,342,769	1,474,239
固定資産合計	5,183,101	5,208,289
資産合計	20,320,721	20,104,419

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年2月29日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,632,967	7,668,886
電子記録債務	4,484,001	4,086,709
未払法人税等	195,165	12,662
賞与引当金	414,234	198,748
その他	523,628	594,556
流動負債合計	13,249,996	12,561,562
固定負債		
退職給付に係る負債	476,246	495,164
その他	222,120	258,004
固定負債合計	698,367	753,168
負債合計	13,948,363	13,314,730
純資産の部		
株主資本		
資本金	494,025	494,025
資本剰余金	627,796	627,796
利益剰余金	4,936,854	5,228,113
自己株式	△120	△184
株主資本合計	6,058,556	6,349,750
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	400,715	508,154
退職給付に係る調整累計額	△86,914	△68,215
その他の包括利益累計額合計	313,800	439,939
純資産合計	6,372,357	6,789,689
負債純資産合計	20,320,721	20,104,419

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年6月1日 至2019年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年6月1日 至2020年2月29日)
売上高	44,374,222	47,946,404
売上原価	39,828,183	43,014,572
売上総利益	4,546,039	4,931,831
販売費及び一般管理費	4,331,681	4,476,405
営業利益	214,358	455,425
営業外収益		
受取利息	356	84
受取配当金	8,608	6,265
仕入割引	21,656	21,994
持分法による投資利益	13,728	16,602
受取手数料	15,472	17,644
その他	18,064	14,410
営業外収益合計	77,887	77,002
営業外費用		
支払利息	1,737	1,857
手形売却損	3,528	3,600
損害補償金	—	2,000
その他	695	2,594
営業外費用合計	5,961	10,052
経常利益	286,283	522,375
特別利益		
条件付対価受入益	—	26,772
投資有価証券売却益	—	8,151
特別利益合計	—	34,924
特別損失		
有価証券売却損	24,212	—
特別損失合計	24,212	—
税金等調整前四半期純利益	262,070	557,299
法人税、住民税及び事業税	41,305	101,231
法人税等還付税額	△1,667	△2,870
法人税等調整額	79,421	60,401
法人税等合計	119,058	158,763
四半期純利益	143,012	398,536
親会社株主に帰属する四半期純利益	143,012	398,536

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年6月1日 至 2019年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2020年2月29日)
四半期純利益	143,012	398,536
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	66,295	107,438
退職給付に係る調整額	11,267	18,699
その他の包括利益合計	77,563	126,138
四半期包括利益	220,575	524,674
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	220,575	524,674

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、当第3四半期連結会計期間において、株式会社アシスト・メディコを新たに設立したため、連結の範囲に含めております。

(四半期連結損益計算書関係)

条件付対価受入益

過去に締結した株式譲渡契約において、一定の条件を満たした場合に追加で対価を受領できる旨の条項が設けられておりました。当第3四半期連結会計期間において当該条件を満たし、追加で対価を受領したことから、当該金額を特別利益に計上しております。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年6月1日 至 2019年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	医療機器 販売業	医療機器 製造・販売業	医療モール 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	44,033,404	285,796	55,021	44,374,222	—	44,374,222
セグメント間の内部売上高 又は振替高	61,738	194	—	61,933	△61,933	—
計	44,095,143	285,991	55,021	44,436,155	△61,933	44,374,222
セグメント利益	577,943	52,065	7,692	637,701	△423,343	214,358

(注)1. セグメント利益の調整額△423,343千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△392,986千円、棚卸資産の調整額△76千円、のれん償却額△30,280千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2019年6月1日 至 2020年2月29日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	医療機器 販売業	医療機器 製造・販売業	医療モール 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	47,655,500	238,452	52,451	47,946,404	—	47,946,404
セグメント間の内部売上高 又は振替高	5,939	201	—	6,141	△6,141	—
計	47,661,440	238,654	52,451	47,952,546	△6,141	47,946,404
セグメント利益	921,283	50,307	3,662	975,253	△519,827	455,425

(注)1. セグメント利益の調整額△519,827千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△508,176千円、棚卸資産の調整額△1,150千円、のれん償却額△10,499千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。